

17 家庭の教育力の向上

①施策の展開	家庭の教育力の向上	課名	地域教育振興課
②取組概要	<p>子育てやしつけに不安や悩みを抱える家庭を支援するため、家庭教育サポーターを小学校に派遣し、相談体制の拡充を図る。</p> <p>社会教育団体などと協働し、市民のコミュニティの促進を図るとともに、市民との協働による生涯学習の機会の充実を図る。</p>		
③構成取組	<p>(1) 元気子育てフォーラム事業</p> <p>(2) <u>家庭教育サポートチーム</u>⁽³²⁾派遣事業</p> <p>(3) 家庭教育学級事業</p> <p>(4) 関係機関・団体との協働</p>		
④取組計画	<p>(1) 元気子育てフォーラム事業を寝屋川市民会大ホールで実施する。</p> <p>(2) 家庭教育サポートチーム派遣事業を行い、各コミュニティセンター単位に1人配置する。</p> <p>(3) 家庭教育学級を、コミュニティセンターを中心に年24回開催する。</p> <p>(4) PTA協議会及び婦人会協議会の活動が円滑に運営され、地域や保護者同士の交流や連携が図られることで、家庭や地域の教育力向上につながるよう、各種事業の支援を実施する。</p>		
⑤取組実績	<p>(1) 元気子育てフォーラムは、「子どもたちの明日の笑顔のために」をテーマに、地域教育振興課の取り組み報告と園田雅春氏の講演会を開催した。</p> <p>(2) 家庭教育サポートチーム派遣事業を行い、各コミュニティセンター単位(2中学校区)に1人配置(石津小・木田小・第五小・西小・中央小・神田小)し、子育てに不安や悩みを抱える保護者に接し、家庭の健全化、青少年の健全育成に寄与した。</p>		

(3) 家庭教育学級を、コミュニティセンターを中心に年 24 回、また子育て応援セミナーを 6 講座開催し、家庭教育力の向上を図った。子育て応援セミナーでは、その中でサポーターや家庭教育ファシリテーターを選出し、事業の企画や運営を進めた。

< 各種事業参加状況 >

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
元気子育てフォーラム		1,067 人	1,013 人	1,009 人
サポートチーム	訪問回数	193 回	254 回	654 回
派遣事業	相談回数	410 回	241 回	600 回
家庭教育学級		521 人	492 人	748 人

(4) P T A 協議会は各中学校区ごとに選出された役員によって運営され、単位 P T A の自主的な活動を支援するとともに青少年の健全育成、地域教育力の向上に貢献し、市の様々な事業へも積極的に参画している。支援事務としては各種事業が円滑に行えるように指導・助言を行った。

< P T A 協議会支援事務参加者数 >

		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
バレーボール大会		1,200 人	1,100 人	1,935 人
P T A 音楽祭		996 人	940 人	977 人
P T A 大会		1390 人	970 人	985 人
ドッジボール親善交流会		1,619 人	2,100 人	2,315 人

・ 婦人会協議会は、平成 23 年度に 60 周年を迎えるにあたり、周年事業の開催などの指導・助言を行った。

⑥評価

- (1) 元気子育てフォーラムは単なる講演会にとどまらず、現在、市が取り組んでいる家庭教育事業についても、市民に周知することができた。今後は、家庭教育支援連絡会と連携し、フォーラムの企画内容、運営方法を検討し、関係機関との連携を図りながら充実をめざす必要がある。
- (2) 家庭教育サポートチームに関する市民のニーズは高く、平成23年度より2名増員し、コミセン単位で配置した結果訪問回数や相談回数が大幅に増え、保護者の子育てに関する不安や悩みの軽減に繋がった。今後は1中学校区1人（計12人）の配置をめざし、孤立する家庭への支援や家庭の健全化、青少年の健全育成のさらなる充実を図るとともに、サポートチームの資質向上にも努めていく必要がある。
- (3) 家庭教育を推進するため、市民に学習機会を提供することができた。今後は、親学習の充実を図るとともに、新たな会場でも提供できるように検討していく必要がある。
- (4) P T A協議会のスムーズな運営がなされるよう事業マニュアルの作成や事業の引き継ぎ等への指導・助言を行い、自主運営をめざす必要がある。
 - ・ 婦人会協議会は教育や、環境、福祉、防犯等の幅広い分野で地域に根ざした活動を展開し、地域コミュニティの醸成を果たすことができた。女性の地域リーダーの活動に関し、一定の成果を得たため、平成23年度末を以って解散することとなった。